

サガリラン 保全・育成・繁殖研究の成果 日本植物園協会「保全・栽培技術賞」を初受賞

一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室(沖縄県本部町)は、公益社団法人日本植物園協会(東京都)から「保全・栽培技術賞」を受賞しました。本賞は、同協会が2019年に新設した賞で、植物の育成や保全に関して顕著な業績をあげた個人および団体等に授与されるものです。

同協会協会誌において、奄美大島における現地環境調査と培養施設での栽培試験を通して、絶滅危惧 IA 類に選定されているサガリランの耐暑性に関する限界温度が30℃であることを明らかにし、亜熱帯地域の植物であっても夏季冷涼な環境が必要であることを示した点が評価されたと令和2年5月に表彰通知を受けました。

今回、「保全・栽培技術賞」は全国で2団体に授与されていますが、沖縄県内の団体では沖縄美ら島財団のみが受賞となります。受賞を受けて、今後さらなる環境保全と地域振興に向けた取り組みを推進してまいります。

■発表雑誌■

雑誌名: 日本植物園協会誌 第54号(2019年11月発行)

論文名: 奄美大島産サガリラン(ラン科)の耐暑性に関する限界温度の評価

著者名: 佐藤裕之¹・赤井賢成¹・徳原憲¹・梅本巴菜²・市河三英²・阿部篤志¹

(¹一般財団法人沖縄美ら島財団、²一般財団法人自然環境研究センター)

※受賞は、一般財団法人沖縄美ら島財団が代表して受賞。

■ポイント■

●奄美大島における現地環境調査と培養施設における栽培試験を通して、絶滅危惧 IA 類に選定されているサガリランの生息域外保存のための増殖方法と栽培要件の一つが、30℃以上の高温を避けることで、亜熱帯地域の植物であっても夏季冷涼な環境が必要である。

●上記の論文内容が、今後の保全を目的とした栽培技術において大きな知見であると評価され、日本植物園協会から令和2年5月に表彰通知があり、沖縄県内では沖縄美ら島財団のみが「保全・栽培技術賞」を受賞した。



絶滅危惧植物のサガリランの花



培養施設における試験の様子

＜お問い合わせ＞ 一般財団法人 沖縄美ら島財団 企画広報課 仲宗根・宮内
TEL 0980-48-3649 / FAX 0980-48-3122
E-Mail : oki-pr@okichura.jp